

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 35
秋号
平成24年
(2012)

環境ひらかた



6～8月みんなでチャレンジした

2012 ひらかた夏の節電コンテスト

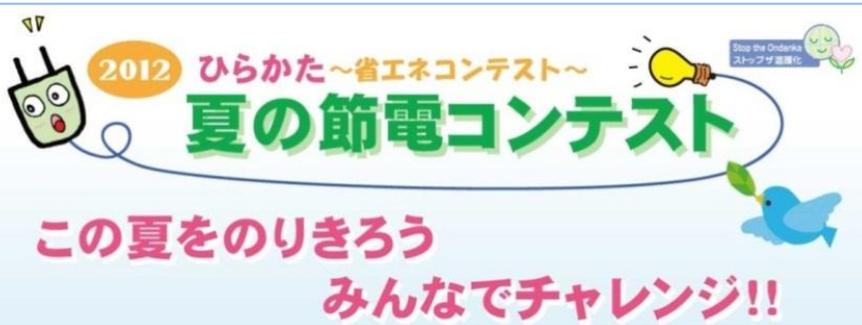


15%節電できなかった方もご応募ください！

10月31日まで受付中！

この夏の電力不足は深刻でした。電力会社からは「万が一に備えての計画停電のお知らせ」がくるなど、誰もがエネルギー問題について考え、節電を強く意識しました。環境ネットワーク会議では、地球温暖化対策の一環として、広く市民に節電・省エネ意識を持ってもらうことを目的に、枚方市と共催で「ひらかた夏の節電コンテスト」を実施しました。ご家庭で取り組んだ節電・省エネによって前年の電気使用量と比較して使用量が減った方、コンテストに応募してください。

6月～8月の電気使用量を15%以上削減達成した方にはもちろん京阪バス「1 day チケット」をプレゼントします。達成しなかった方にも抽選でプレゼントがあります。また、その他、アイデア賞や努力賞など色んな賞を用意しています。ふるってご応募ください。



～応募期間は9月20日～10月31日まで～

【対象者】

- ・ 昨年に比べ電気使用量が削減できた人
- ・ 太陽光発電システム装置に係る枚方市の補助金を受けていない方

【対象期間】

平成24年6月～8月（検針票は7月～9月分）

応募用紙に必要事項を記入し、検針票「電気ご使用量のお知らせ」を貼ってご応募ください。

目次

2012 ひらかた夏の節電コンテスト	P 1
エコチェックDAY・環境家計簿	P 2
環境トピックス VOL.1	P 3
部会紹介	P 4・5
お知らせ	P 6・7
それゆけ！エコ企業「戸田自動車工業」	P 8

ひらかたエコチェックDAY



12月9日(日)に開催!一年に一度のエコチェックDAYで
ライフスタイルを見直してみましょう。

日頃の生活をチェックしてみましょう

12月9日は「ひらかたエコチェックDAY」です。これはひらかた環境ネットワーク会議が行う温暖化対策の取り組みの一つで、今年で4回目となります。日々の生活を振り返って、一年に一度エコチェックシートに記入をすることから、ライフスタイルを見直してみる機会にしませんか。地球温暖化問題は、持続可能な社会を維持していくためには避けて通れない大きな課題です。私たちはこの課題に向き合い、いかに低炭素社会を構築していくか考えなければなりません。「エコチェックDAY」はまずその第一歩として、日々の生活におけるCO₂削減を意識して頂く事を目的に開催します。参加・応募して下さった方の中から抽選で50名の方に豪華賞品が当たります。

保存版 2月9日(日)は市庁一斉エコチェックDAYの日
さあ、日常の行動をチェックしてみよう!

項目	CO ₂ 削減量
1. 歯磨きをする時は水を流さず	18g/日
2. TVは長い番組がなければ、付けない。見ない時は消す	30g/日
3. 洗濯機は満杯で洗う。乾燥機は20℃以下にする	94g/日
4. ハンドソープ・洗剤など使い過ぎないようにする	72g/日
5. シャワーや水漏れはこまめに止めながら使用する	82g/日
6. お風呂は湯かきしてからすぐに入る	233g/日
7. ごはんや飲み物を残さずに食べる	14g/日
8. ゴミの分別をする	135g/日
9. 自動車やバイクを走らせずに徒歩・自転車・バス・電車を使う	464g/日
10. 家族や家族と環境の事、温暖化の事など話題にする事があふ	*

※CO₂削減量の計算は一般的な目安です。実際は自宅のエネルギー消費量によって異なります。

「環境家計簿」知っていますか?
皆さん環境家計簿をつけてご存知ですか?
これは私たちの暮らしとどれだけのCO₂を出しているかを知るための大切なものです。『家計簿』と同じように『環境家計簿』をつけてみるのもいいかもしれません!

その1. 地球温暖化防止に貢献できます
その2. 省エネ診断を受けられ、家計の節約ができます
その3. これをきっかけに家族の「絆」が深まるかも...

※1. 当日で終了する環境家計簿作成年次報告書、出来たら印刷してご自宅に貼ってください。
※2. 印刷用紙は環境家計簿作成年次報告書、出来たら印刷してご自宅に貼ってください。
※3. 印刷用紙は環境家計簿作成年次報告書、出来たら印刷してご自宅に貼ってください。

①左の項目を読んでOKを記入して下さい
○=できている又はできる
×=できていない又はできない
◇=どちらとも思えない(わからない)

今日で	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
明日で										

②今日シート記入何回目ですか?
(1回目・2回目・3回目・4回目)

③地球温暖化についてどう思いますか?
意識のレベルに該当する(数字)に○をつけて下さい
5 4 3 2 1
意識問題(数字) → 意識レベル → 意識問題(数字)

④地球温暖化への対策の必要性についてどう思いますか?
(複数回答可)
一人一人が取り組むべき問題・政府が取り組むべき問題
自治体や企業が取り組むべき問題・対策も必要とする問題ではない
その他

⑤このシートはどこで手にいれましたか?
(学校・会社・自治会・公民館・イベント会場・その他)

応募方法
上記のシートを郵送、送付先は下記に下さい。送付先は下記のとおりです。
送付先: 〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成年次報告書作成委員会
〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会
〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会

応募特例
応募先: 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会
〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会
〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会

〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会
TEL: 072-264-2288
FAX: 072-264-2289
URL: http://www.hirakata-eco.com
〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会
〒590-0042 大阪府吹上区吹上1-1-1 環境家計簿作成委員会

抽選で50名にステキな商品をプレゼント

エコチェックシートに記入したはがきを郵便、FAX、または、市役所等の回収ボックスへ。

参加して下さった方には抽選でペア食事券・今注目のLED電球・毎年好評のひらかた名産品など豪華賞品をプレゼントします。

* 応募締め切り 12月22日(当日消印有効)

ご家族やお友達と一緒にエコチェックシートの10項目にチャレンジ!

「環境家計簿」知っていますか?



環境家計簿は、私たちのくらしでどれだけCO₂を出しているか知るためにつけるものです。枚方市では平成9年から取り組み、企業も独自の環境家計簿を持っています。しかし、あまり取り組まれていないのが現状です。その理由は「面倒くさい」、「意味がわからない」等。環境家計簿をつけるメリットはたくさんあります。環境ネットワーク会議ではより簡単につけられ、目的を達成できるものを作成中です。請うご期待!

~こんなメリットがあります~

- 1.地球温暖化防止に貢献できる。
- 2.省エネ診断を受けられ、家計の節約に。
- 3.これをきっかけに家族の「絆」が深まる...

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や環境に関する様々な事柄について、「知ってほしい・知らせたい」情報などを今回からこの新コーナーで伝えていきます。今回は「深刻化する水問題」、「電気買取制度が7月からスタート」、「雷の発生回数」です。

◆深刻化する水問題

地球は表面の70%が水で覆われ「水の惑星」とも言われています。しかし、その水の97%は海水で飲料や生活には適さず、地球上の人間は3%の水に頼っています。その水も、ほとんどが南極や北極の氷や雪などで、私たちが使えるのはわずか1%位です。

そんな中問題になっているのが、バーチャルウォーター（仮想水）です。これは、農産物や畜産物を生産するには大量の水が要りますが、輸入している食料を、もし国内で生産するとしたら、どの程度の水が必要かを推定したものをいいます。例えば、牛肉1kgを生産するには約20,000倍もの水が必要です。海外から食料を輸入することは、それに係った水を輸入していることとなります。日本の食料自給率は約40%。日本はバーチャルウォーターを輸入して生活をしています。海外での水不足や水質汚濁等の水問題は、日本と無関係ではないのです。

◆電気買取制度が7月からスタート

今、新たなエネルギーとして注目されているのが、太陽光、風力、地熱、バイオマスなど自然の力を利用した再生可能エネルギーです。この再生可能エネルギーは、エネルギー自給率を高め、地球温暖化対策としても役立つと期待されています。このため、平成24年7月1日から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が始まりました。この制度は、再生可能エネルギーを用いて発電された電気を、一定価格で電気事業者が買い取ることを義務付けたものです。社会全体で再生可能エネルギーを普及・拡大させていく目的で制度化されました。この制度によって、再生可能エネルギーが広がることを期待したいですね。

詳しくは経済産業省資源エネルギー庁 HP

◆雷の発生回数

関西ではこの夏、天気が急変し雷雨になることが多かったですね。

気象庁によると、8月大阪で雷を観測した日数は、例年で4日ほどですが、今年は12日を記録したそうです。この数字は、過去にさかのぼると2番目に多い数字です。

ところで、雷の発生メカニズムはご存知の方も多いと思いますが、雷(落雷)は、積乱雲などの雲中の氷が空気の対流でぶつかり合い摩擦を起こし、その時起きた静電気が空気中に止まることが出来ずに地上・水上の物体を電極として放電することで起きるものです。では、その積乱雲はというと、地表の温度が高くなり、上昇気流の発生が激しくなりそこに冷たい湿った空気が流れ込み上昇気流によって上空に運ばれ積乱雲となるのです。なので、低気圧や、前線によって発生する雨雲と違い、数十分、あるいは数分で発達するのです。

地表が高温になればなるほど、そこに湿った空気が流れ込むことで、積乱雲が発生しやすくなるということであれば、地球温暖化の影響も大きいかもしれませんね。



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

自然エネルギー部会

親子で参加、 手作りソーラーカーで自然エネルギーを学んだよ！

東北大震災が発生し、日本全体がエネルギー問題に目覚め、今では、国民の関心事のひとつに、大きな変化です。2005年からスタートした「ひらかた自然エネルギー学校」は、当初、再生可能エネルギーとは何ぞやから“学ぶ”講座方式でした。最近3年間は「じゃあ、枚方や周辺の地域ではどうなっているの？」と、企業や事業所の協力も得て、一緒に自然エネルギーに“触れる”ことによって、“考え”、それぞれが、何か“実行する”には、という体験型にしています。これには、毎年、新しい企画や工夫が必要です。去年日本のエネルギーを考える特別セミナーを追加し、今年も7月8日に“節電所”というテーマで開講しました。今年子どもたちに参加してもらおうと、8月26日に「親子で自然エネルギー」を開催し、子どもが20名と保護者16名が、参加しました。



あっ！
動いた！

当日の様子

大人がミニ講座「どこまで伸ばせる自然エネルギー」を受講している間に、子どもたちも、自然エネルギーについて学び、おもちゃのソーラーカーを手作りし、ソーラーで動くスクーターや噴水を楽しみ「また、してね！」という嬉しい言葉を残してくれました。

この企画は、教育サポート部の出前授業グループの協力があって、可能になりました。

まちづくり部会

「hana くずはフェスタ」開催場所



*花いっぱい運動*で地域と連携

まちづくり部会は、8月5日に樟葉商店街で開催された「hana くずはフェスタ」に、花を植えたプランター20鉢を提供しました。これは、今年度の事業計画であげていた他団体連携事業の一つである「くずはイキイベント」が、駅前の工事に伴い中止となったため、「花いっぱい運動」として取り組まれた「hana くずはフェスタ」に協賛・協力という形で行ったものです。プランターはフェスタ当日、イベントのステージに飾られ

会場に文字通り“花を添える”ことが出来ました。

終了後は会場近くの公園に設置され、通行人の目を楽しませています。今後も引き続き「花いっぱい運動」に連携・協力していきたいと思っています。



提供した花を植えたプランター



環境教育サポート部会



環境という言葉からのイメージは…？

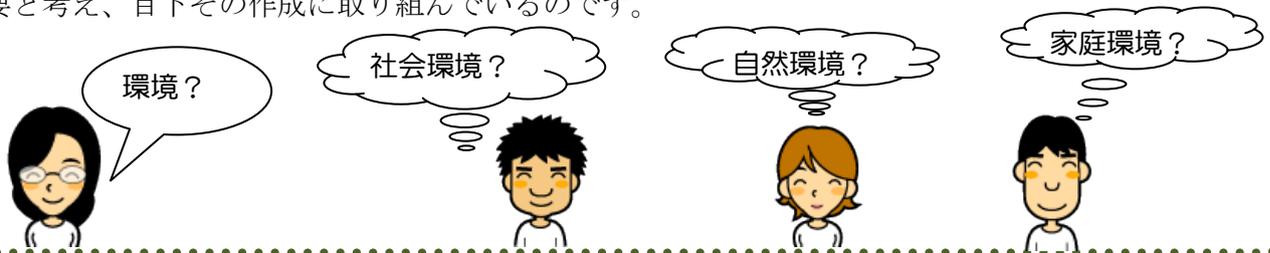
皆さんは「環境」という語句から何をイメージされますか？

何をイメージするかを調べてみると、まさに千差万別、人それぞれです。なぜこのような状況が生まれてくるかと言うと、その根本要因として国の「環境基本法」に定義規定がないことが挙げられます。

環境教育を進める上では、この“環境”に対するイメージ、“環境”の捉え方・考え方を共有しておく必要があります。この共通の「環境イメージ」を持つことで、環境教育を進める方向が定まってくるからです。

例えば、社会的インフラである公共施設や、交通機関等の整備も「環境」整備ですし、個々人の環境の取り組みも「環境」活動です。共に環境という大きな括りのなかに含まれます。

これら両者が合わさり、相乗効果により大きな活動となるためにも「共通的環境イメージ」が必要と考え、目下その作成に取り組んでいるのです。



公共交通部会

ひらかた交通タウンマップを広げると…

公共交通部会が作成し、枚方市が転入者向けに発行している「ひらかた交通タウンマップ」をご存知ですか？
移動手段として、マイカーの利用を控え、環境への負荷の少ない公共交通の利用の促進を願って作成したのですが、広げて見られたことはありますか？

そこに「バス、電車と暮らしのクイズ」というコーナーがあり、へーと思うようなことがクイズ形式で記載されています。

是非この機会にじっくりとご覧になってはいかがでしょうか。

なお「ひらかた交通タウンマップ」をご希望の方は、ひらかた環境ネットワーク会議事務局まで、お問い合わせください。



バス、電車と暮らしのクイズ

これは下にあります。詳しくは別紙でご覧ください。

クルマや電車、バスを使うと二酸化炭素(CO2)が出ることは、みなさん知ってますか？私たちの住む枚方市には、便利な「電車」と「バス」の公共交通機関があります。さて、エコが叫ばれる昨今ですが、クルマを持っている人と持っていない人とは、どんな違いがあるのかクイズで考えてみましょう。



- 問1 Aさんの家族のクルマは、バスと比べて何倍くらいCO2を出しているでしょうか？
① 0.5倍(バスのほうが多い)
② 1倍(バスと同じ)
③ 2.5倍(クルマのほうが多い)
- 問2 1日の生活の中でAさんはBさんの何倍くらいCO2を出しているでしょうか？
クルマから出るCO2と、テレビを見たりお風呂に入ったり使った電気やガスから出るCO2も、一緒に考えてください。
① 同じ
② 1.2倍
③ 1.5倍
- 問3 Aさんの家庭では、クルマにかかる費用は年間のいくらか？
① 10万円
② 30万円
③ 75万円
- 問4 Aさんは、フィットネスクラブに通い、泳ぎを1時間しています。一方、Bさんは毎日、電車とバスを使って片道1時間通勤しています。Bさんは何日通勤すればAさんのジム通いと同じ効果があるでしょうか？
① 3日
② 7日
③ 15日





お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは
ひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。
☎72-847-2286

「ひらかた環境ネットワーク会議 環境講座 2012」がスタート！
自分にあった環境講座を選んで下さいね♪



環境教育サポーター養成講座「くらわんか塾」受講生募集

枚方市の幼稚園・小学校・中学校で環境活動の推進を支援する環境教育サポーターの養成講座です。
終了者には認定書を発行し、当団体が主催する支援訪問や出前授業に携わって頂けます。

- 日程 10月27日(土)～11月17日(土)の毎週土曜日全6回
- 場所 ひらかた環境ネットワーク 会議室(枚方市北中振3-20-12)
- 参加費 1500円(全6回分)
- 定員 15名程度 ※定員になり次第締め切ります
- 対象者 枚方市近郊に在住、在勤(在学)の方



★詳細は同封のチラシをご覧ください

環境活動スターター講座 vol.1 ～クッキング編～ 「ソーラー&エコ Cooking」

子どもたちと、ごみを出さないエコクッキングと太陽の熱を利用したソーラークッキングを体験！

- 日時 10月13日(土) 10:30～13:30
- 場所 枚方市民会館 調理室(枚方市岡東町8-33)
- 参加費 親子500円(材料費込) 一人追加につき 300円
- 持ち物 エプロン・三角布(バンダナでもOK)・手拭き1枚・台拭き1枚
- 定員 10組(小学校1年生から) ※10月1日より受付開始。定員になり次第締め切ります



★詳細は同封のチラシをご覧ください

環境活動スターター講座 vol.2～まちづくり編～ 「甦れ！菊人形」

「菊人形」の歴史や現状を知り、ひらかたパークの菊人形祭を見学します。

- 日時 11月21日(水) 10:00～12:30
- 場所 枚方公園青少年センター(枚方市伊加賀東町6-8) ※解散場所はひらかたパークになります
- 参加費 200円(資料代込) ※参加者には嬉しい特典が♪
- 締切 11月19日(月)
- 定員 25名 ※定員になり次第締め切ります



★詳細は同封のチラシをご覧ください

枚方の「春夏秋冬の風景写真」募集

枚方市内で撮影された「春夏秋冬の風景写真」を募集します。
四季は問いません。応募作品は、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議のホームページ掲載や、チラシ・ポスター等に使用します。



【募集方法】

PCメールで jimukyoku@hirakata-kankyou.net 宛に送ってください。一人何枚でも大歓迎です

【条件】

1. 電子データに限る
2. 枚方市内の風景写真
3. 未発表のもの
4. 一ヶ所につき一枚限定
5. ファイル名として撮影日付と場所、氏名（ニックネームも可）をつけること
6. 切り抜き、貼り付けなど画像加工は不可。
7. もし、人物が含まれている場合は 無断で他人の肖像権を犯したものでないこと

ホームページトップのヘッダー写真



第14回バス！のってスタンプラリー

～なぞのコトバを探せ！～

環境や地域にやさしいバス・電車を使って、枚方のまちを探検しませんか！

日時 10月20日（土）8時半受付開始 9時スタート

場所 枚方市役所前 岡東中央公園集合（京阪枚方市駅下車）※雨天決行

参加費 参加無料（別途交通費が必要）※小学生以下のお子さんは保護者同伴

定員 150名

内容 ・「バスとまちのお話」 大阪大学大学院准教授 松村暢彦氏

・路線バスを乗り継いでひらかたの名所を巡り

それぞれのスタンプポイントにある文字を集めてコトバを作って下さい

★詳細は同封のチラシをご覧ください



ひらかた自然エネルギー学校 2012

～連続セミナー～

自然に学び、資源を生かして自然エネルギーで自立をめざす、
ゆとりある枚方をめざして一緒に学びませんか？

日時 第2回 10月14日（日） 9:00～「京都で身近なバイオマス」

第3回 11月4日（日） 9:00～「穂谷自然農園と自然エネルギー」

受講料 第2回 1000円（昼食付） 第3回 1500円（昼食・野菜お持ち帰り付）

集合場所 ラポールひらかた（枚方市新町2-1-35）9時集合※マイクロバスで行きます※定員残りわずか！





それゆけエコ企業!!

地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる元気な事業者さんを紹介するコーナーです。今回は枚方市春日野にある「戸田自動車工業」さんです！

環境に負荷をかけない暮らしはありえない だからこそできることで負荷の軽減を図る 私たちに課せられた課題です

私たちの日々の暮らしの中で、移動手段として、自転車や公共交通を利用することが望ましいのですが、とは言ってもやはり、つつい使ってしまうのが自動車です。自動車の排ガスは地球温暖化の原因の一つと言われている二酸化炭素の排出源として大きな割合を占めています。

今回伺った戸田自動車工業さんは、そんなガソリン車のエンジンモーターを積み替える事で環境への負が少なく二酸化炭素を出さないEV車（電気自動車）へ転換する技術を、産学協同で研究しておられます。また一方、「春日十日会」として地域の環境活動にも貢献しておられます。

“ガソリン車をEV車へ転換”技術の商品化にはまだ少し時間がかかるようですが、自動車という環境にとって、大きな負荷を与える商品を扱う事業者として、その負荷を少しでも少なくできないかと努力しておられる姿勢に、私たちが日々の暮らしの中で、出来ることは労を惜しまず取り組まなければとの思いを強くして取材を終えました。



工場事務所横の電気充電スタンド前にて「環境にやさしい電気自動車をもっと普及するよう頑張っています」と語る戸田社長



春日十日会作成のソーラー機関車。地域の子どもの環境教育に。



電気自転車

戸田自動車工業

〒573-0128
枚方市春日野1丁目1-52
TEL:072-858-2781

ひとこと



暑く長かった夏も終焉を迎え、ようやく秋の気配が感じられるようになりました。

さて、今回も無事に秋号をお届けすることが出来ました。しかも、夏号に続き今回もカラーで！前回初めてカラー刷り会報誌をお届けしましたが、各方面で非常に高評価を頂戴しました。通常の白黒の紙面では、決して起こり得ないであろう“追加のお届け”を、させて頂いた公共施設があったことが、その高評価ぶりを物語っています。白黒か、カラーか？！賛否両論あると思いますが、ぜひご意見等お聞かせ下さい。

丸井

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第35号

平成24年10月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話・FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kannkyou.net>

発行責任者：丸井 晶子 編集責任者：廣田 武司

※サブリ村野耐震工事の為、平成24年4月～平成25年3月まで
下記の住所へ移転しています。

移転先事務所の住所 〒573-0064 枚方市北中振3丁目20-12

